



第 7 号

千 町 田

発行元:(農)のきの郷
安来市利弘町 922-1
Tel/Fax:22-2580

発行責任者:山本 耕一

とまとト口箱栽培始動

特産品担当

山本 耕一

利弘カントリーエレベータ隣にあるJAやすぎの育苗ハウスのうち2棟をお借りして農のきの郷のト口箱栽培はスタートします。

私たちが取組むト口箱栽培は、発泡スチロール製ト口箱を使用し培土は主にヤシ殻を使用し点滴で肥料を灌水するシステムです。耕起、畝立て等の作業が省略されるほか投入肥料や農薬の低減ができる環境に優しい栽培方法です。栽培品種は中玉トマトの「レッドボニー」と「フルティカ」で品種ごとにハウスを分けて栽培に取り組みます。

大型機械作業化により女性や高齢者の活躍の場が少なくなっていることから、女性・高齢者を対象に作業者の募集をしたところ、女性9名の応募があり、この方々で栽培に取組むことになり、5月15日に説明会を開催し、6月初めに資材搬入、6月9日にト口箱設置と同時に培地入れおよび灌水配管

等準備し6月16日に「レッドボニー」を定植、7月15日に「フルティカ」を定植、8月中旬から12月初旬まで収穫し、JAの直売所・道の駅などで販売予定です。

泉普及所、JAやすぎの指導を仰ぎながら栽培に取り組みますが、栽培技術を習得し安定栽培が出来る力と美味しいトマトを消費者に届けるため全員一丸となって取組みますので温かいご支援をお願い申し上げます。この取組みが青年部、女性部創設への足掛りとなるよう期待しています。また土地利用型経営に依存することなく、経営の多角化を推進し新たな就労の場の提供と地域全体の活性化、より安定

した組織を目指して行きたいと思っております。

り安定した組織を指して行きたいと思っております。



なたねちゃんフェスタ 開催

4月20日に

菜種作付圃場周辺を会場にして菜の花のお祭りとして『なたねちゃんフェスタ』を開催しました。

あいにくの空模様であり、また小学校行事とかさなっただため人出は今一つでした。今年の反省を踏まえ来年に生かしていきたいと思っております。



合わせて募集したフォトコンテストの結果を交流センターに展示しました。忙しい時期の展示だったためか目にされた方は少ないようでした。



春作業始まる

春作業が圃場の耕起に始まり、種まき、直播、苗代の管理、田植えと作業が続いています。種まきは各町内に分かれて3日間でを行いました。多数ご参加いただきありがとうございました。

今年はぎぬむすめ以外の苗を緑化苗として購入しています。量的には約半分購入したことになります。秋の収穫を目指して皆様のご協力をお願いいたします。



能義幼稚園が 菜の花畑にやってきた

4月15日に能義幼稚園の皆さんが菜の花畑に遊びに来てくださいました。今年も去年ほどの背丈は無かったものの子供たちは大喜びで鬼ごっこなどをして遊びました。



能義小学校 稲作体験

能義小学校5年生7人がプランター栽培の稲作を体験学習します。まずは、4月30日に育苗箱に種まきし、5月30日にプランターに田植えを行います。



収穫までの稲の成長を観察カードなどで学習して行きます。



菜の花 フォトコンテスト

募集していただきました菜の花を題材にした写真ですが多数の方に参加いただきありがとうございます。交流センターにて結果発表および展示いたしました。審査の結果をお知らせします。(敬称略)

- 最優秀賞 山崎 光男 (沢町)
- 優秀賞 原 美保 (赤崎町)
- 佐伯 洋子 (利弘町)
- 原 邦夫 (赤崎町)
- 原 昭夫 (赤崎町)
- 入選



最優秀賞
朝日をあびる菜の花畑

お詫び

前月号のお悔やみで誤りがありましたので訂正します。

正 坂田純三殿(誤) 山本純三殿(誤)